

大学誘致基本構想を 策定しました

近年、アジア地域の経済発展に伴う航空需要の増加により、航空技術者などの人材不足が懸念されている中、国は航空産業ビジョンを策定し、航空技術者の育成などを重点課題としています。

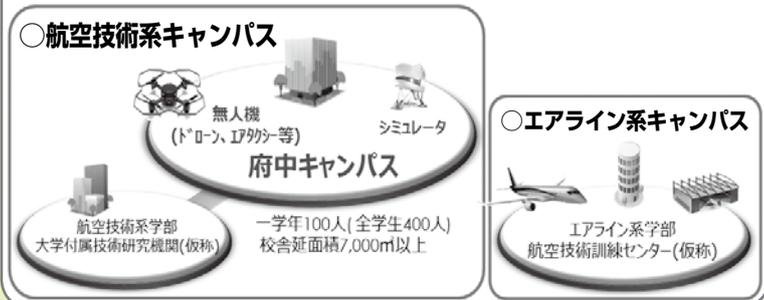
一方、府中市では、人口減少・少子高齢社会に対処するため、ものづくり産業の技術を生かした新産業を創出することが求められています。

こういったことから、航空産業の人材育成を国の政策として進めるよう、専門職大学制度などを活用した国立大学法人航空技術大学（仮称）の設置を国に求め、その一部である無人航空機コースを府中市に誘致することを目指します。

問い合わせ先

企画財政課（☎437118）

航空技術大学（仮称）のイメージ



府中市への誘致を目指す無人航空機コースでは、航空機の製造、整備などを学ぶ航空技術系学部の一部として、無人航空機の製造者、関連サービスを担う人材を育成します。

◎大学誘致基本構想説明会

構想の説明やパネルディスカッションを行います。

とき 11月10日(金)18時30分～
ところ 府中市文化センター

府中キャンパスの規模の試算

日本の無人航空機市場の今後の成長見込みから、府中キャンパスは1学年最大約100人、学生数最大約400人という試算をしています。この学生数から、大学設置基準に基づき試算すると、校舎延べ面積は最低約7,000平方メートルが必要と見込んでいます。

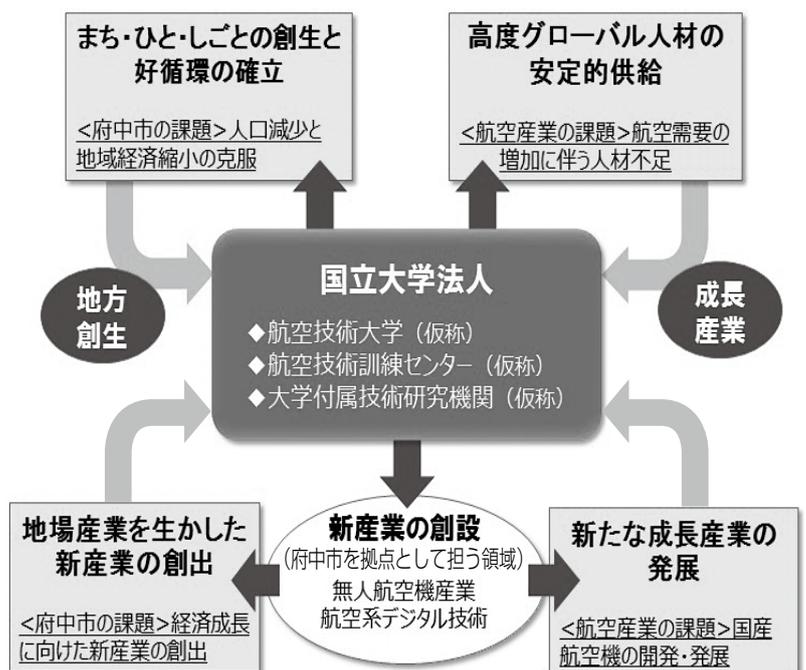
誘致による経済波及効果

文部科学省作成報告書などに基づき、地域に与える経済波及効果を算出すると、初年度100人の学生が入学した場合の効果額は約7億円を超え、4年目以降では年間約24億円と推定されます。なお、大学の研究機関の研究成果に伴う産業的革新などの効果は含んでいないため、さらに大きな経済波及効果があると推定されます。

地域産業の活性化

府中市周辺の企業は、自動車産業を中心とした素材・部品加工を行っており、

大学設置・誘致により解決が期待される課題



今後の取り組み

この構想を基に、引き続き広島県や各府庁などへの働き掛けを行い、大学の設置および誘致に向けて積極的に取り組んでいきます。

1万5,215人の皆さんから、大学誘致への賛同署名をいただきました。ご協力ありがとうございました。